

あふる~ち

<http://u-40.seesaa.net/>



第63号

平成21年1月1日

発行責任者

綾瀬市商工会青年部

部長 藤井信一

《《情報委員会》》

委員長 大久保貴正

家族親睦会

富士サファリパークに行って来ました!!

9月21日（日）、総務委員会主催の家族親睦会が開催されました。家族親睦会は、普段、部員の青年部活動に理解をし、協力をしてくれる家族のために、日頃の感謝の気持ちを込めて行う事業です。

当日は、あいにくの雨の中でしたが、大勢の家族の方が参加してくれました。今回のメインが富士サファリパークということもあり、朝からたくさんの子どもたちの楽しそうな声がバスの中に響いていました。

パークに到着すると、悪天候にもかかわらずすごい人です。入り口からずーっと中まで車が行列を作っていました。

ですがここでは渋滞も悪いことだけではありません。おかげでパーク内をゆっくりバスでまわることができ、車内には「クマだ！！」「ライオン！あそこ！木の上！！」と子どもたちは大はしゃぎ。そして子どもに負けないぐらい、立ち上がって興奮する大人たちの姿が、あちこちに見られました。大きなキリンが真正面からバスに近づいてきて、真横を通った時には、車内の盛り上がりはピークを向え、大人も子どももみんな大興奮！

その後はバスを降りて動物園ゾーンです。自由行動になり、かわいい子犬たちとふれあったり、小動物にえさをあげたりして、各自楽しい時間をすごしました。

たくさん遊んでお腹をすかせた一行は、次に御殿場ビール園へと向いました。ここは飲み放題食べ放題！

バイキングの料理の多さに「おいしー！」「次、何食べる？」とノリノリの子どもたちが、何度も行ったり来たりする姿が印象的でした。

ビール園というだけあって、ビールの種類も多いです。全種類制覇できた人は、かなりの強者でしょう。

さて帰る時間です。満腹になった一行は、帰りのバスの中で、寝てしまう…かと思いきや、なぜか運転手さんがかけてくれた、アニメ映画に夢中になっていました。

しかし、あまりにも帰路が順調だったため、アニメ映画は一番のクライマックスのところで、あえなく綾瀬に到着。続きが気になる大人たちを残し、大雨の中とはいえ、快適だったバスの旅は終わりを迎えました。

みな楽しかった思い出をお土産に、三々五々家路に着いたのでした。



第4回「あやせ商工フェア」開催！

10月26日（日）、綾瀬市役所広場にて、第4回あやせ商工フェアが開催されました。



今回のテーマは「うまさ発見 楽しさ発見 元気いっぱい in あやせ」です。綾瀬市商工会が主催し、綾瀬を盛り上げるフェアです。青年部のブースは、ポップコーンの販売と花火の玉の展示、花火大会の映像の放映、主張大会で活躍した、青年部の技術力の粋を結集して作られたガンダムシールドの展示です。また、ステージの組み立てや、演奏者の楽器の搬送など、裏方としても活躍しました。



やっぱり大人気のポップコーン。落とさないでね！

会場では、長い太巻き製作をしたり、ゼリーのつかみ取り、SOY JOYの無料配布などが催され、大変盛り上がりました。また、市内工業会などの工業展や、商工会に加入している商店の出店、さらにレーシングカーの展示もあり、子どもたちに大人気！ステージでは、東海大学の学生による環境とエコを考えるショー「エコレンジャー」が上演されました。とても瑞々しい演技で、子ども達にも分りやすくCO₂問題を教えてくれました。

とても盛り上がった商工フェア。1万人以上は来場したのではないかと言うほどの大盛況で、まさに大成功だったと思います。

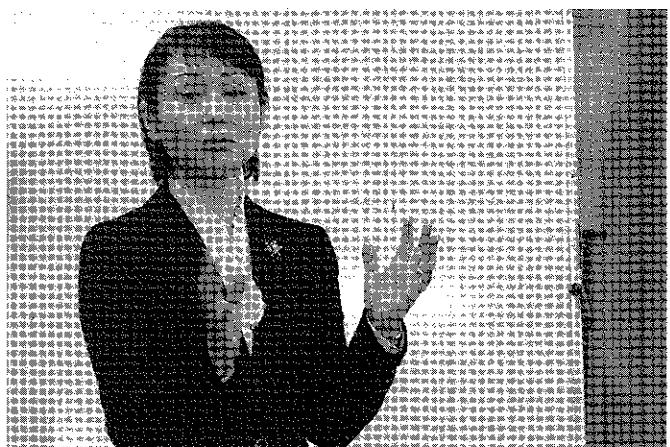
ご来場頂いた皆様、ありがとうございました！

人材力向上研修

～人を動かすコーチング～

12月5日（金）、商工会館大会議室において講演会研修「人材力向上研修 ～人を動かすコーチング～」を行なわれました。

今回講師としてお越しいただいたのは、グロウス・カンパニー代表、山岡仁美先生です。



コーチングとは、経営者、リーダー等が指導的立場の人間が、「コーチとして部下から能力を引き出し、部下自身の力で最大限の成果を出せるように効果的なコミュニケーション・サポートを行なう」事を目的とした、部下との信頼関係を築く為のスキルの事です。

その為には、普段の部下とのコミュニケーションの中で、何に気を付け、何を実践したら良いか、と言うことが研修のテーマです。相手の話を完全無視したり、適当な返事をしている状態は、とてもコミュニケーションと呼べるものではありません。でも、職場でなにかと一番多いのが、そういう状態なのだそうです。これでは、お互いに信頼関係を築くことは出来ません。

部下の能力、可能性を信じることで能力を引き出すコーチングとは、前向きな接し方のスキルの事なのです。

部下だけではなく、人間関係全般に有意義に作用するスキルだと感じました。



研修委員会が企画したこの研修事業は、横断幕に掲げた「成長、その糧になる刺激」という、藤井部長の今年のスローガンにまさにふさわしいものとなりました。

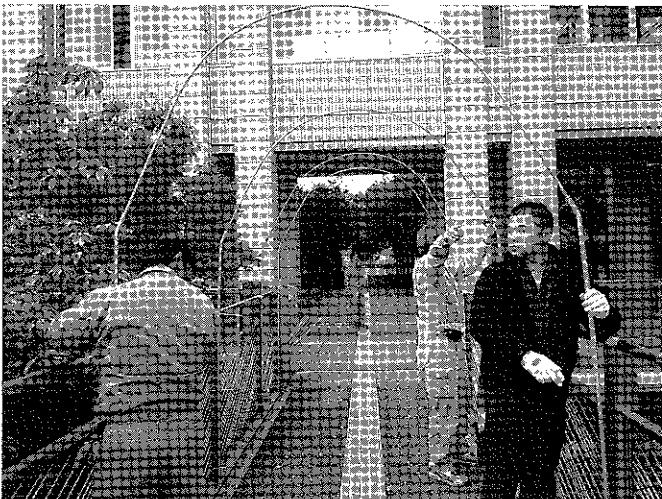
—第3回綾瀬イルミネーション—

毎年恒例となった、夜間に綾瀬市役所周辺を彩るイルミネーション。今年で3回目を数えます。綾瀬市的一大イベントに成長したイルミネーション事業に我々青年部も参加してきました。

・イルミネーションの事前準備

今年、我々青年部は、イルミネーション実行委員会の電飾部会の一員として、会場を彩るイルミネーションの飾り付け、点灯式のお手伝いなどでイベントに参加してきました。

夜を彩るド派手なイルミネーションは、「準備の作業もさぞや楽しいものなのだろう」、と思われるかも知れませんが、実はイルミネーションの設置作業は冬の寒空の下で地味に行われます。



市役所の中庭にある橋の上にパイプを一本一本組んでアーチ状の屋根を作り、発光ダイオードを巻きつけていきます。地味な作業を嘲笑うかのように吹き荒ぶ冷たい風も、作業の辛さを倍増させます。

パイプを組み上げる作業から3時間半経過したところで、橋の飾り付けが完了しました。

仮点灯を行い、点灯したことを確認して作業終了です。点灯期間中に、来場した人たちの目を少しでも楽しませられる事を祈りつつ、点灯式に臨みます。

・イルミネーション点灯式

点灯式当日は、見事な程の快晴で、雲ひとつありませんでした。12月6日から1月4日まで、事前に準備を重ねてきたイルミネーションが点灯されます。

はたして青年部員たちの組み上げたイルミネーションは来場者たちを喜ばせる事が出来るのでしょうか。

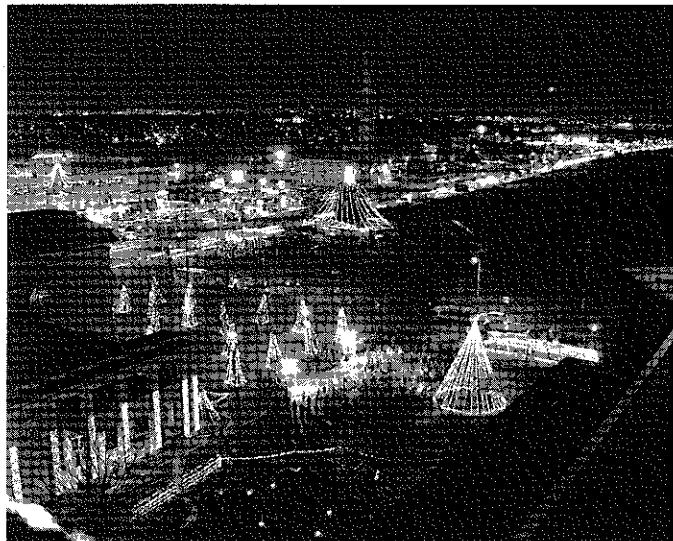
点灯式当日はイルミネーションの点灯に関わる作業以外に今年が初の試みとなる、「あやせイルミネーションdeよさこい乱舞」の会場の設営、警備のお手伝いをしました。

日中は、メイン会場も人がまばらではありましたが、気温が急激に下がる夕方頃、下がる気温と反比例して来場者数が増えてきました。

点灯直前のメインステージの周辺は、隙間が無いほどの来場者で埋め尽くされています。

イルミネーションを点灯するスイッチは、ゲストとして来ていただいている複数のよさこいチームを代表して、参加者の子どもたちが押します。子どもたちも少し緊張した表情でスイッチ... オン！

来場された方々から歓声が上がります。桜並木、メインツリー、ナイアガラ、もちろん苦労して作った橋のトンネルも見事なほどに美しく飾られています。



闇夜に美しく点灯されたイルミネーションよりも、イルミネーションを眺めて喜ぶ来場者の方々の顔を見て、ほっと胸を撫で下ろす青年部員たちの姿が、とても印象的でした。

綾瀬青年三団体交流会 ボウリング

11月5日（水）、ミネボウルにて「綾瀬青年三団体交流会」が催されました。綾瀬青年三団体とは、

綾瀬青年会議所

J A さがみ青壮年部

綾瀬市商工会青年部

の三団体です。

会場はミネボウルですので、交流会の内容はもちろん「ボウリング」です。

参加人数が各団体によってバラバラなので、個人戦となりました。

優勝は、我が商工会青年部の小林太紀君！

2位、4位、5位も青年部が名を連ねました。

年に一度の三団体交流会は今年も大盛り上がりでした。

綾瀬の青年団体は、この一日を通じて、より強い結束で結ばれた事でしょう。

コラム

「新型インフルエンザ」ってなに??

最近、テレビなどで頻繁に取り上げられるようになった「新型インフルエンザ」ですが、まだまだ一般の人には認知度が低いようです。

そもそも、新型インフルエンザの脅威とはなんでしょうか?簡単に言うと、まだ人類にとって免疫のない、新しい型のインフルエンザウイルスが、動物の世界から人間の間で流行するようになり、免疫がないため爆発的感染と重症化を招く恐れがある…というものです。

間違いやすい点ですが、今、皆さんのが予防接種をしたり、学級閉鎖の原因となったりしている従来のインフルエンザ(季節性インフルエンザ)とは全く違います。

また、「鳥インフルエンザ」とは、新型インフルエンザの前の段階であり、現在、動物(家禽)の間で散発的な大流行をみせていますが、現時点では完全には人間に適応しておらず、まだ新型にはなっていません。しかし、その出現はもう秒読みの段階といわれています。

この新型インフルエンザの世界的大流行(パンデミック)は、確率で言えば100%起こります。問題は「いつ、どのレベルで」それが起きるかということなのです。

現在、新型インフルエンザの有力候補として、「H5N1」と、「H9N2」というインフルエンザ亜型ウイルスがあります。特に前者の「H5N1」については、極めて毒性が強く、1918年のスペイン風邪を凌ぐ被害がでるのではないかと警戒されており、厚生労働省の予測では、日本国内での死者数は最悪の場合、64万人となっています。

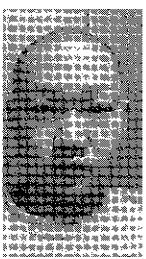
こうした被害に対処するため、国や企業の対策もだいぶ整ってきました。厚生労働省では、昨年11月の専門家会議にて、感染者発生時の臨時休校や集会の自粛、ワクチン接種の優先順位などの新しい指針を発表しています。また、大企業を中心に、大流行時のBCP(事業継続計画)の策定や訓練、社員とその家族への啓蒙なども活発に行われています。

ひとたび新型インフルエンザが地球のどこかで発生したとすると、少なくとも2週間ほどで日本国内にもウイルスが侵入すると言われており、日本の人口密度や交通網の発達を考慮すると、感染拡大を阻止することはほぼ不可能と見られています。

特に「H5N1」については、従来のインフルエンザとは別物の症状を引き起こし、若年層(幼児・学童含む)での高い致死率が懸念されています。ワクチンや抗インフル薬などの効力や供給量も未知数で、感染拡大の初期は、ほぼ自己責任で自分を守るしかありません。家族や社員、ひいては会社を守る為にも、しっかりとした知識を身に付けたいものです。(尚、新型インフルエンザについての情報は、青年部ブログにて不定期連載する予定です。)

新入部員紹介 ようこそ

高橋 孝 寛 君



事業所: 協進設備(株)

生年月日: 昭和57年4月14日

趣味: アウトドア

スポーツ: サッカー

藤谷 貴光君



事業所: (有)谷藤木型製作所

生年月日: 昭和48年3月9日

趣味: インターネット

高橋 大輔君



事業所: (有)高橋工芸塗装

生年月日: 昭和58年12月30日

趣味: 車

スポーツ: サッカー

1月～3月 活動予定

1月24日(土) 賀詞交歓会

2月8日(日) 2月度レセプション

2月21日(土)～22日(日) 先進地視察研修

編集後記

あけましておめでとうございます。平成も21年目となりました。こうして本誌の編集をしていると、ふと毎号若い青年部員が入部してくれている事に気が付きます。ともすれば、あと1～2年もすると、平成生まれの青年部員が誕生する日が来るかもしれませんね。

世間はかつて無い不況の真っ只中で、商工会員の皆様にあっても、とても辛い状況にあることとお察し申し上げます。私たち青年部員も私たちなりに綾瀬を盛り上げるべく、より一層一生懸命活動してまいりますので、ご支援ご協力ご声援の程、よろしくお願い申し上げます。

■青年部ブログ(ホームページ)の見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net>もしくは、どの検索エンジンでも「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れればOK。携帯から見る場合は同じくアドレスを入力するか、「あぷろーち」表題にあるQRコードを読み込んでアクセスして下さい。